

令和2年度 地区防災リーダー研修会 2回コース

赤い羽根共同募金市民活動助成金事業

テーマ 「地域防災 基礎の基礎」「地域防災 基礎の基礎 応用編」

日時 令和2年11月23日(月) 18時50分～20時30分

令和2年12月7日(月) 18時50分～20時30分

場所 蒲郡勤労福祉会館 視聴覚室

主催 防災塾 ～知ってて蒲郡～

目的 「もしもの時」その場のリーダーとして、「命を守る」判断と行動をとるための「防災知識と備えのための行動」を講師の体験から学ぶ

参加者 市内各地区役員・各種団体役員・市議会議員・市職員など

(1回目/2回目参加数 各33名+3名オブザーバー 申し込み 43名)

講師 NPO法人 日本防災士会所属

NPO法人 愛知県防災士会所属

防災アドバイザー 広瀬 一行 氏

第1回 令和2年11月23日(月) 18時50分～20時30分

簡単な参加お礼の挨拶のあと、昨年度研修会講師を務めるにあたり、蒲郡市役所「防災課」で市の防災体制を確認された経緯があり、防災士視点での蒲郡の課題を市民にご伝授頂きたいと、再度講師依頼したことを参加者に伝え、早速、研修会に移りました。

自己紹介のあと、本日の研修項目説明、ご持参のパソコンとプロジェクターで、パワーポイント、DVD上映で進めて頂きました。内容はご自分が実践された訓練を中心に話されました。

「防災基礎の基礎」

| | | |
|---|-----------------------------|-------------------|
| 1 | 地区防災計画(DVD) | 上映 |
| 2 | 過去最大の災害 (想定外と言わない、言わせない) | 濃尾地震紹介 |
| 3 | 防災クイズ(DVD) | 上映と説明 |
| 4 | 2018年3月ふれあい通信(DVD) | 上映 (ハザードマップ説明) |
| 5 | では、どうすれば良いのか? | 自助/共助/近助/公助 |
| 6 | 防災組織図 | 紹介 |
| 7 | 実践!! 避難及び避難所運営訓練の様子 | 自助/共助/近助/公助 |

配布…: 非常用トイレセット (講師プレゼント)

配布資料…: 地区住民宛の各種チェック票を含む34頁+日本防災士会報 vol.7 P6~7 追加
(蒲郡市ハザードマップ 土砂災害危険区域あり)

: 感染リスクを高める5つのリスク : 防災グッズ「ホイッスルを作ろう」

第2回 令和2年12月7日(月)18時50分～20時30分

研修会開会に先立ち「第9回 がまごおりまちづくり賞」表彰状と記念品が鈴木寿明市長から防災塾 ～知ってて蒲郡～ へ手渡されました。

夜間の限られた時間のため主催者あいさつと多岐に渡る2回分の資料説明は文面で配布。早速、広瀬講師にご講演をお願い致しました。前回同様、本日の流れを紹介頂き、下記により分刻みで進めて頂きました。

研修会開催8年目で市長が初めて受講されました。

「地域防災 基礎の応用編」

| | | |
|----|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 住居の耐震補強について | 貴方のお住まいは、 新建築基準法で 施行されていますか？ |
| 2 | 感震ブレーカーの設置について | 稲沢市では？ では、蒲郡市では？ |
| 3 | 貴方が家具転倒防止をしていないと こうなります(DVD) | 上映 |
| 4 | 家具転倒防止対策では どうすれば良いのか？ | 稲沢市では？ では、蒲郡市では？ |
| 5 | 貴方の住居地域の一時避難所を 住民全員が把握されていますか？ | 一時避難所で確認 したいことがあります |
| 6 | 避難ルートの確認等されていますか？ | ルート確認には、 ハザードマップ作成他 必要ですが？ |
| 7 | 避難所情報は？ | 避難所開設・運営のための 緊急連絡先全戸配布 されていますか？ |
| 8 | 食料・物資等々の備蓄は、 完了していますか？ | 個別計画チェック『4』『5』 ✓されましたか？ |
| 9 | 家族の安否確認方法はご家族で 相談されていますか？ | 個別計画チェック『6』 ✓されましたか？ |
| 10 | 確認(避難行動個別計画)を実行 | 共助・近助を万全に しましょう |

: 「地域防災 基礎の応用編」 81 頁

- ・ 新型コロナウイルス感染対策に配慮した「避難所開設/運営訓練について」(提案)
- ・ 情報収集と共有…トランシーバー(無線機)を活用した情報伝達体験

: 避難所運営行動個別計画 詳細資料 71 頁

(担当役割別手順/名札/提示物/避難所レイアウト図など)

- ・ 稲沢市での各種訓練報告と実施記録写真

: 三河地震の災害概要 32 頁

: 「シニアカフェ ドリル&メニュー」 A5 63 頁

(一般財団法人 日本食生活協会発行・稲沢市食生活改善推進員の立場から)

「防災研修会」初参加者を考慮され「自分の命は自分で守る」を市民として、身近かな「リーダー」としての意識と行動を「地域防災の基礎の基礎」として、実際の街歩きのケーブルテレビ放映画像と災害現場のDVD、配布資料の説明で伝えて頂きました。

過去の災害の被害状況を知ることにより、自分の地域周辺現状を確認、自宅からの避難経路を一軒一軒具体的に地図上に記す。作成から関わることで「もしもの時」を我が事として考えることの大切さを実感致しました。

「防災クイズ」を手上げ式受講者参加型で、「ふれあい通信」「ではどうすれば良い」「実践！避難所運営訓練」までの各項目で、「自助/共助/近助/公助」と聞きなれているつमりの言葉も受講者に再確認してもらえてのではと思います。



受講者にプレゼントの
トイレセットの説明をされる
フェースシールド着用の広瀬講師



研修会場の様子

1回目で災害の基礎知識と、市民としての「防災活動」の必要性をご講演頂き、2回目に更に身近な地区で、「リーダー」としての啓発の具体的実践方法を各過程での必要書類様式も資料として配布頂き、ご説明を頂きました。

追加資料として配布された「三河地震」地元体験者も減少、伊勢湾台風から60年を経て、最近の台風のコースが変化したこともあって市民の「防災意識」が薄れていることは否めません。巨大化している自然災害に備え、企業・事業所の専門性を防災も含む「まちづくり」に市民力として活用できればと考えます。例えば、地区防災訓練に地元電気店が「感震ブレーカー」の説明を一役担うという、市民一体化の雰囲気づくりに展開していく必要を感じています。幸い今回青年会議所会員、市長、行政職員も参加して頂きました。

アンケートに、「分かり易かった(回答中89%)」「活用できるところが大きいにあった(回答中67%)」「職場で活用したい」との回答、感想がありました。今回の広瀬講師のご講演を起爆剤として「市民力」と「行政力」の役割分担と協働を更に進めるための具体的活動が必須と改めて考えています。「シニアカフェドリル&メニュー」を高齡化率高い蒲郡市内のコミュニティづくりに活用し、家族、ご近所へと「防災」＝「当たり前」に日常生活に取り入れることが大切と研修会参加者が自身の立場で伝えてくれることに期待しています。新型コロナウイルス対応のため、少数参加ではありましたが大変重厚な研修会でした。

文責： NPO 法人 愛知県防災士会 小林 春代
(研修会主催 防災塾 ～知ってて蒲郡～)